

とんと焼き

1/14（金）にとんと焼をしました。お飾りや、園で子どもたちが書いた書初めと一緒に燃やし、無病息災を祈りました。とんと焼で焼く餅を食べると一年元気に過ごせると言われていますが、今年は感染症防止のため、自粛しました。その代わりに、今まではなかった大きな獅子舞を職員が手作りし、またミニ獅子舞はそら組の子どもたちが一人一つ作り、子どもたちの頭をかぶり！制限のある中でも行事を楽しむ事ができました。

いちょうフェスティバル in冬

1/24～1/28 はいちょうフェスティバル週間でした。今年1年間子どもたちと四季を通じて季節ならではのあそびをそら組を中心に一緒に考えて実施しました。冬は正月あそびなどの昔あそびで、こま、羽根つき、福笑いなどをしたり、園庭ではゴム跳びや長縄で身体を動かして、わらべ歌あそびを楽しんだりしました。普段はなかなかしないようなあそびもありましたが、どれも好評で、これを機に定番のあそびとして子どもたちと楽しみたいと思いました。

いちょうの森だより

いちょうの森こども園 園だより No.59



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。
<https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

令和4年2月1日 発行
いちょうの森こども園 園だより
桜が丘東3-3-496
TEL 086 (956) 2022
FAX 086 (956) 2023

2月

- 2(水) 山陽小学校物品販売
- 3(木) 誕生会
- 4(金) 山陽東小学校保護者説明会
- 10(木) 山陽北・桜が丘小学校保護者説明会
- 15(火) 避難訓練
- 25(金) 新入園児説明会

3月

- 3(木) 誕生会
- 8(火) 卒園旅行
- 11(金) 健脚活動
- 14(月) 避難訓練
- 23(水) 卒園式、終了式
- 24(木) 一号春休み [~3/31]

ちょっと 教えて！

冬の感染症で気をつけたい病気にウイルス性胃腸炎があります。今回は、こどもの嘔吐時の対応について紹介します。

●吐きそうな時は前かがみの姿勢

→顔が下を向くように前かがみの姿勢に吐いた物が気管を塞がないようにします。

●汚れた口や服はきれいにする

→吐いた後はうがいをさせたり、ガーゼで拭いたりして口の中や周りをきれいになります。汚れた服は漂白剤を薄めた液に30分～60分浸けてから洗濯をしましょう。

●タイミングを見て水分補給をする

→吐いてすぐは水分も受け付けない状態なので、30分くらい時間を空けてから「OS-1」等を与え、それで吐かなければ量を徐々に増やしましょう。水やお茶では失われた塩分は補うことができません。



嘔吐物の処理は、ビニール手袋やマスクを身に付け、塩素系の消毒液を薄めたもので処理し、部屋を換気することで二次感染を防ぎます。

【参考文献：子どもをあずかる人のための救命マニュアル】

「“やってみよう”の気持ちを大切に」

今年のほし組の合言葉はやってみよう！と題して、鉄棒やボール運び縄跳びなどいろいろなことに取り組んできました。

その中で1月から始まった縄跳びタイム。運動会でもらった縄跳びを使うことが嬉しい子どもたちですが、Aさんが「縄跳び難しくて跳べれんからしたくない」と言ってきました。近くで聞いていたBさんは「やればできるよ！」と、声をかけ返していました。それを聞いたAさんは、持っていた縄跳びをほだき、跳び始めました。まだ引っかけたり、何回も飛んだりすることは難しいですが“やってみよう”と挑戦している姿がありました。そして何回も挑戦するうちに跳ぶことができた時には、喜びに満ち溢れた表情をしていました。

子どもたちの中で“やってみよう”という合言葉は生きています。自分自身でまた、友だち同士でも刺激しあい、いろいろなことに挑戦して行ってほしいなと思いました。

“やってみよう”という合言葉は私の中にもあって、4月から就職をしてまだまだ未熟ですが、何事にもやってみようとする気持ちを持っていろいろなことに挑戦してきました。最初は不安で自信もなかったですが、ほし組の子どもたちの“やってみよう”と挑戦する姿を近くで見ている、私自身も大いに刺激を受けました。ほし組での生活も残りわずか2か月を切りました。これまでに1日1日を大切に、子どもたちと過ごしていきたいと思っています。

西岡 美琴



お正月あそび（羽子板や風あげ）を楽しみました！



冬あそび！思い出の1ページ



そらぐみ

午睡をしなくなり、そら組だけで遊ぶ時間が増えました。外では、竹馬に取り組んでいます。身体の重心をできるだけ前にして、バランスをとって乗ります。「やりたい」と挑戦しますが、簡単には乗れません。友だちに支えてもらって協力し合ったり、補助足をつけて慣れたりしながらしています。残りの園生活をしっかり楽しみ、たくさんの思い出を作りたいです。



ほしぐみ

寒い日が続いたのでタイヤに水を入れ、大きな氷を作ることになりました。次に日の朝見してみると、丸い大きな氷ができ「うわあ〜！」と目を輝かせ、眼鏡のようにして覗いていました。

また次の日もチャレンジしましたが、あれ…できない…ただの水だけ。何でできなかったんだろう？と考えていると「暖かかったらできんのじゃない」と声が上がりました。失敗を経験することで、新しい発見が見つかります。そんな発見や気づきを見逃さず、楽しんで行きたいです。



つきぐみ

寒さが厳しくなり、冬の自然現象に興味津々のつき組のこどもたち。氷を作ってみることにしました。「れいぞうこでなくてもこおるよ」「そとのみずたまりにこおりがあったのみた」と氷ができるのをワクワクして待ちました。「今日はできたかな？」と見に行っても、風が強すぎて水を入れたカップが飛んでしまったり、水が少なすぎてすぐに溶けていたり、と「できてない…」と残念な日も続きましたが、ある寒い朝に氷ができていた日は感動して、「みてみて、きれい」ととても嬉しそうに周りに知らせていました。冬にしかできない体験もあそびの中で楽しみたいです。



伝承遊びの一つである『福笑い』をしました。おかめかひょっとこのどちらか好きな方を選び、楽しみました。顔の認識が少しずつ分かり、「目は…」「口は…」と自分なりに考えながら置いていました。できあがった顔を見ては、「なんか変な顔になっちゃった〜」と、笑いが止まらないにじ組のこどもたちでした。

にじぐみ



ゆきぐみ



ビニール袋に絵を描き、My 凧を作りました。出来上がった凧を持ち、園庭に出ると、風が吹いていて凧がフワフワと舞いました。しかし、風が止むと凧は地面に下りてしまいます。『何でだろう？』と不思議そうなこどもたちに、走ると風を受けて凧が上がることを伝えると『なるほど！』と言わんばかりに走っていました。たくさん走って身体もポカポカです。

はなぐみ

正月あそびで、折り紙で作ったコマや牛乳パックで作った羽子板を使って遊びました。保育者がコマを回して見せると「うわ〜」と回っている光景に喜び、自分でも回してみたくなりコマを持ちます。指先が前よりも上手に使用できて、自分でもくるくる回すことができまた「うわ〜」と言って喜んでいました。

